

# 夢の「ソーラー水素ステーション」 産官連携で、水素エネルギーを 活用した低炭素社会へ

ソーラー水素  
ステーション

平成24年3月から、埼玉県、本田  
技研工業(株)、岩谷産業(株)、(株)  
本田技術研究所が共同で、「ソー  
ラー水素ステーション」

(問合せ：埼玉県庁環境  
政策課 048・830・  
3024)を埼玉県庁敷  
地内に設置し、水素エネル  
ギーの実用化に向けた実  
証実験を行っている。

この「ソーラー水素ス  
テーション」は、ソーラー  
パネルで発電した再生可  
能エネルギーの電気を利  
用して、ホンダ独自技術の  
高圧水電解装置により高  
圧の水素を製造し、水素ス  
テーションで貯蔵、燃料電  
池自動車に供給するとい  
う仕組みになっている。環  
境省の委託を受けた産官  
共同の実証事業として設  
置され、水素の製造から貯  
蔵、供給、利用までのプロ  
セスにおいて二酸化炭素  
を一切排出しない日本初  
のシステムである。つくら  
れた水素を燃料に走る燃  
料電池自動車は、埼玉県の  
公用車として実際に使用  
されている。

さらに、可搬型インバー  
タボックスを利用するこ  
とにより、非常時や、電力  
需給逼迫時には、燃料電池  
自動車が発電した電気を、  
一般家庭に給電すること  
も可能となるなど、低炭素

社会の実現をめざして、都市環境  
下におけるさまざまな実証が進め  
られている。

## ソーラー水素ステーションの仕組み

